

九州システム建築協力会開く 16年度実績は超過達成

JFEシビル

【長門】JFEシビルは24日、山口県長門市の旅館でJFE九州システム建築協力会の2017年度定期総会



あいさつする田中会長

を開催、流通や協力施工店など32人が出席した。

冒頭、田中千稔会長(タナカ鋼建工業社長)は「近年、鉄鋼業界は技能者や若者不足となっており、今後は労働環境を整えるなどで業界全体を盛り上げていく努力が必要だ。伝統産業が多くあっても、世の中の移り変わりは早く、大変なのが現状。まだまだ鉄鋼業界を活性化させることができると思うので、頑張っていきたい」と語った。続いてJFEシビルの藤井善英社長は「第5次中期計画の最終年度となる今期は、売上目標1000億円を目指す。システム建築では目標が200億円から225億円と伸びており、達成していきたい。『いちいち基礎工法』のさらなる改善・拡大やラインアップの増加などを中心に励



藤井社長

み、各企業活動の力になれたらと思う」と話した。

米倉真也九州支店長からは全体の16年度事業報告と17年度の事業方針が説明された。16年度の売上高・受注高実績は計画に対して、ともに超過達成できた。17年度事業方針として①売上1000億円を達成する②メタルビル採用のワーク工事業や材料販売を一層増やす③新築案件でデバイス拡販に注力する④インフラ再生事業の設計織り込み量を増やす⑤協力会社との施工協力体制の強化、BIM活用、現場管理・生産管理のIT化を促進する

ーなどに取り組む。その中で、システム建築は継続的な200億円以上の売り上げを目標としており、メタルビ

ルや立体駐車場、デバイスの各分野を強化するとともに、生産体制の充実を図る方針。九州支店単独の17年

度の受注目標は38億円、売上は37億円を掲げ、駐車場展開や営業強化、安定受注の確保などに力を入れる。